

令和7年度 第3回加西市総合政策審議会

次 第

日時：令和7年8月25日（月）午後2時～

場所：加西市民会館 3階 小ホール

開 会

1 議 事

- ・ 第2回部会 外部評価（2次評価）の実施 ※3部会での検討 … ※評価資料一式

閉 会 ※ 部会単位で解散とします

【次回開催予定】

令和7年度 第4回加西市総合政策審議会

日時：令和7年9月25日（木）14:00～

場所：加西市役所 5階 大会議室

令和7年度 第3回加西市総合政策審議会 出席者名簿

氏 名	団 体 名	役 職	備 考
荒木 努	加西空き家相談室	代表	
大野 聖佳	NPO法人加西市国際交流協会	ジェネラルリーダー	
岡 信義	加西市区長会	富田地区代表区長	
岡田 美香	女性農業者	代表	
小川 仁郎	加西市シニアクラブ連合会	会長	
杉本 昇平	加西商工会議所青年部	会長	
谷勝 公代	加西市くらしと生活を守る会	会長	
辻 さやか	加西市連合PTA	副会長	
東根 光児	北条金融協会	会長	
中野 重美	加西市スポーツ推進委員会	副委員長	
濱本 泰秀	加西商工会議所	会頭	
樋口 真史	加西市労働者福祉協議会	会長	
藤井 良子	賀茂幼児園PTA	会長	
和田 真理子	兵庫県立大学 国際商経学部	准教授	

(計14名 敬称略 五十音順)

■市担当者（説明員）

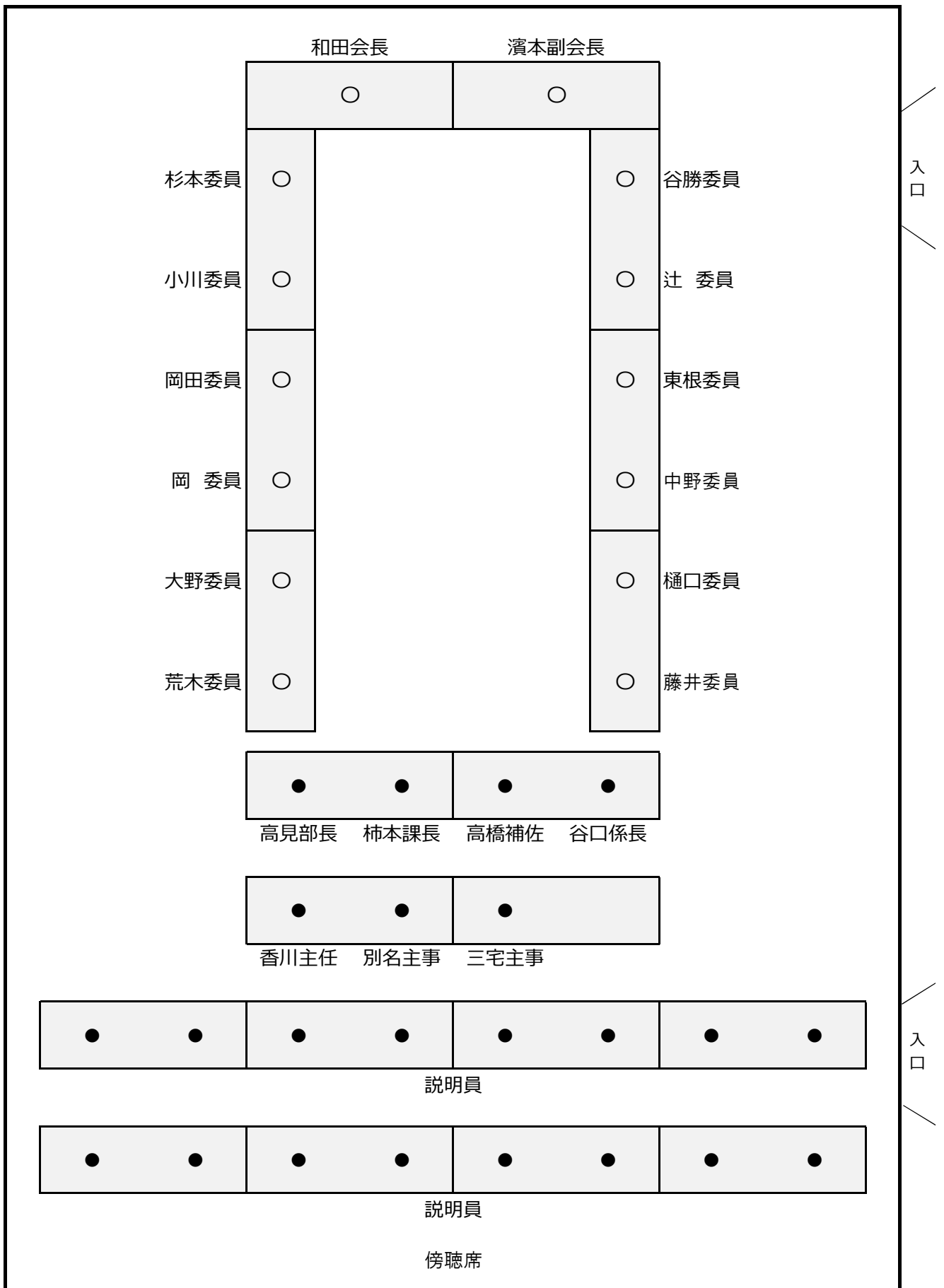
氏 名	所 属 ・ 役 職 名
丸山 常基	地域部長
民輪 清志	総務部長
藤本 浩明	市民部長
下山 晴一郎	福祉部長
藤後 靖	産業部長
石野 隆範	建設部長
北川 陽一	環境部長
伊藤 勝	教育部長
上坂 寿人	市立加西病院事務局長
井上 英文	建設部次長
阿部 裕彦	地域部観光課長
萩原 康仁	地域部まちづくり課長
千石 忠正	産業部産業課長
北島 悦乃	教育委員会生涯学習課長

■事務局

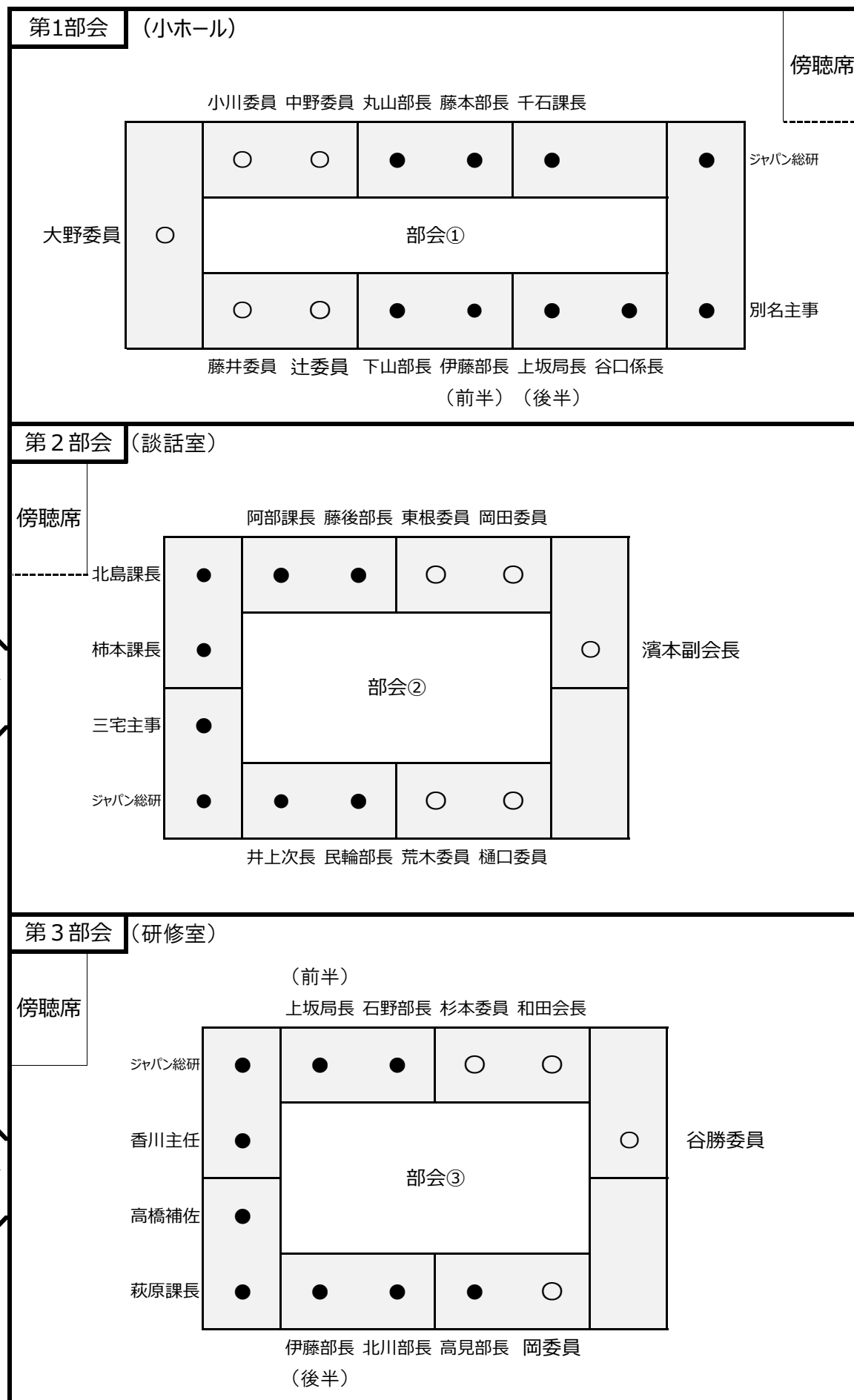
氏 名	所 属 ・ 役 職 名
高見 昭紀	政策部長
柿本 尚一	政策部政策課長
高橋 知弘	政策部政策課 課長補佐
谷口 成俊	政策部政策課 係長
香川 理宇	政策部政策課 主任
別名 柁哉	政策部政策課 主事
三宅 里彩	政策部政策課 主事

令和7年度 第3回加西市総合政策審議会 配席図

(加西市民会館 3階 小ホール)



令和7年度 第3回加西市総合政策審議会 部会配席図（加西市民会館3F）



部会2日目

※部会1日目の評価は反映済

第6次加西市総合計画（実施計画） 政策評価シート

基本方針・政策・施策								担当部会 1		
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実 ② 地域ぐるみの子育て支援の推進 ③ 子育て環境の充実									
未来の加西の姿										
家族や子どもを持ちたい希望に対し、切れ目ない支援で叶えられるまちを目指します。										
評価検証										
施策	行政内部による評価検証（1次評価）					審議会による外部評価（2次評価）				
① （ア～ウ） 評価シート 1～4	■ 出逢いサポートセンター事業 イベントやセミナー開催により、お見合い機会と成婚数は微増したが、参加者不足でイベントが中止になることもあり、参加者の増加に取り組む必要がある。 ■ 子育て支援施策の推進 子どもサポートセンターを設置し、健康課と子育て支援課が連携して妊産婦相談を実施した。電子母子手帳にオンライン相談や予約システムを導入し、登録者増加と利用促進を図った。令和7年度より5歳児健診の実施を予定している。 ■ 産後ケアの充実 委託施設数が増えたこと、「お試し利用券」をすべての産婦に配布したことなどから、利用者数が大幅に増えた。					■ 出逢いサポートセンター事業 県の行っているAIを活用したマッチング事業等により、出逢いサポートセンターでフォローしきれていない層に対してアプローチをしているということであるが、今後も継続実施していただきたい。 ■ 子育て支援施策の推進 妊娠中の相談支援率は、令和4年度以降97～99%と高水準で推移しており、相談支援体制が充実されてきていることを評価する。 ■ 市立加西病院の医師確保 医学生向けの奨学金貸与と制度による貸与者が、加西病院に来てもらえるよう、引き続き神戸大学とも連携を図るようお願いする。				
	総合評価	B…ほぼ目標を達成				総合評価	B…ほぼ目標を達成			
② （ア～エ） 評価シート 5～12	■ 子育て世帯への負担軽減 「子育て応援5つの無料化」を継続実施し、子育て世帯の負担軽減を図った。学童保育園では高学年児童に待機児童が生じたため、受け皿の充実に努める。また、令和6年度より母子父子自立支援プログラム事業を実施し、自立促進に向けた相談支援を行ったほか、児童養護施設に加え、里親がで子供を一時的に預かることができるようにしたため、利用が大幅に増加した。 ■ 子育て応援プロモーション 検索連動広告により移住への関心が強い顕在層に広報するほか、近隣住民にはSNS広告による潜在層の掘り起こしを行った。また、結婚世代の親にあたる世代へのプロモーションを強化した。					■ 子育て応援プロモーション フォロワー数が伸びているのは評価する。Instagramだけでなくスレッドも活用するなどSNSの更なる活用を検討してみようか。 ■ かさいすく子育て定期便事業 定期訪問による見守り支援を行うことで、虐待の早期発見に繋がることもあるため継続的に実施していけるようお願いする。				
	総合評価	B…ほぼ目標を達成				総合評価	B…ほぼ目標を達成			
③ （ア～ウ） 評価シート 13～15	■ 保育受け入れ体制の整備 療育事業を直営するとともに、ほぐびキッズの広場事業と統合して「ねひめキッズ（児童療育室）」を開設し、支援を要する児童の早期発見、園との連携強化を図った。加配職員の充実のほか、保育教諭の確保に向けて補助金を交付した。また、使用済おむつについて保護者の負担軽減のため、こども園での処分費補助金を創設した。 ■ アスモの運営 全体入場者数は昨年度比105.1%となり、一時預かりはリピート利用者が増加している。令和6年度は子育て相談を開始するなど、利用者への新たなアプローチを実施した。テレワークセンターは交流イベント、パソコン教室を実施し、利用促進を図った。					■ 待機児童対策 保育施設に空きはあるものの、特定のこども園への入所希望により、待機している乳幼児以外に待機児童がいないという点を評価する。 ■ アスモの活性化 遊戯施設の利用者数は増加推移し、施設に活力がみられるが、テレワークセンターは稼働率が下がってきている。イベントの開催や利用条件の緩和といった利用促進に向けた取り組みが実施されており、利用者増加に向けた努力は継続すべきである。				
	総合評価	C…目標をやや下回って達成				総合評価	B…ほぼ目標を達成			
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
合計特殊出生率	目標			—	—	—	—	1.83	人	単年
	実績		1.28	0.91	1.11	1.12	1.05			
	達成度			50%	61%	61%	57%			
※15～49歳までの日本人女性の年齢別出生率を合計したもの										
	目標									
	実績									
	達成度									

基本方針・政策・施策										担当部会 1	
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ										
政策	2 子どもの教育の充実										
施策	④ 教育の質の向上 ⑤ 教育環境の充実 ⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実										
未来の加西の姿											
自ら学び行動する能力を身につけ、子どもの可能性を広げられるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
④ (ア～エ) 評価シート 16～19	■教育の質の向上 外国語教育アドバイザーを新たに配置し、外国語担当職員への研修や指導を充実させた。また、初めて実施したイングリッシュキャンプは、課題を整理して次年度も継続予定である。部活動指導員の活用はできているが、外部人材の活用方法を検討していく必要がある。 ■小・中学校の連携強化 小中のオープンハイスクールにおいて相互授業参観を行い、児童生徒だけでなく職員間や学校間の共通理解につなげた。また、教員の授業力、教師力の向上や不登校など教育的課題に応じた講座を開設し、社会の変化に伴う多様で複雑化する教育ニーズへの対応を図った。 ■ICT教育 ICT支援員からの自発的な研修や助言等もあり、より高いレベルの活用を目指すことができた。						■外国語教育 現在、は小学生の段階から英語学習が始まっているが、「学ぶこと自体」が目的となってしまうと、なかなか身につかない。児童の学習意欲を引き出すよう工夫が求められる。 児童の中には「外国語」という科目で英語を学んでいる理由について理解できていない児童もいる。諸外国にルーツを持つ児童が増えていることも考慮すると、英語を学校で学ぶ意義等についても伝えていく必要があるだろう。				
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
	⑤ (ア～イ) 評価シート 20～22	■教育環境の整備 学校再編を見据えた改修計画に基づいて、照明器具更新や体育館トイレ改修、図書室空調整備等の工事を行った。 ■小中学校の再編方針 総合教育会議（2回）において学校再編や跡地活用について協議し、タウンミーティングでの説明、意見交換のほか、地元団体や学校施設を利用する団体等からも意見を聞き取った。また、統合泉小学校や統合中学校の開校に向けた委員会を開催し、必要な整備に着手した。						■通学支援輸送業務・小学校遠距離通学児童支援 学校再編を見据えたスクールバス整備の準備を進めている点は評価する。夏季のみであるが、学校から3km以上離れた地域に住む児童を対象にした通学バスの運行については他の方法があるのではないかと。 ■小中学校の再編 統廃合については、保護者や地域住民の意見を踏まえながら進めていくようお願いする。			
総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成				
⑥ (ア～ウ) 評価シート 23～25	■子どもを守り育てる仕組みづくり 泉中と善防中に校内フリースクールを開室し、全中学校区に設置することができた。スクールソーシャルワーカーの増員により、面談や家庭訪問など、より手厚い支援ができるようになったが、全国・県と比較して不登校生の割合が高く、継続的に支援を実施する。 ■地域との連携 オープンスクールや学校運営協議会を実施し、地域に信頼される学校づくりを推進した。また、土曜チャレンジ学習については、事務負担軽減を図る観点から実施教室数は減ったが、目標通りの6小学校区で実施することができた。						■校内フリースクール 全中学校区に校内フリースクールが整備され、無料で利用できる点は評価できる。不登校児童にとっての居場所となる大切な場所となるので、継続して実施いただきたい。 ■地域人材活用・土曜チャレンジ・学校支援活動事業 地域にいる様々な人材と、出会い、会話を交わす機会をもてることは有意義である。今後もこうした取り組みを継続して進めていくことを望む。				
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
	目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
全国学力・学習状況調査において全国平均点を上回った教科数	目標			—	—	—	—	3	教科	単年	
	実績	1	3	1	0	0					
	達成度		100%	33%	0%	0%					
※全国学力・学習状況調査による小学生（国語・算数）、中学生（国語・数学）の4教科のうち、全国平均点を上回った教科数											
児童・生徒用PCの使用率	目標			—	—	—	—	100	%	単年	
	実績	0	49.29	49.9	48.9	51.1					
	達成度		49.3%	49.9%	48.9%	51.1%					
※ 1年間に個人用PCを使用した延児童・生徒数÷（5/1現在の児童・生徒数×登校日数）											

基本方針・政策・施策										担当部会 1	
基本方針		1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策		3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策		⑦ 生涯学習の充実 ⑧ 芸術・スポーツの振興 ⑨ 健康増進の推進									
未来の加西の姿											
生涯、学びやスポーツを楽しみ、日常生活やまちづくりに活かせるまちを目指します。											
評価検証											
施策		行政内部による評価検証（1次評価）					審議会による外部評価（2次評価）				
⑦ (ア～イ) 評価シート 26～27	■公民館活動の充実 市民教養講座では、防災の備えに特化した講座や草刈り機の取り扱い講座を開催し、好評であった。また、各町が取り組む住民参加の交流事業等に対する補助として、社会教育推進補助金を新設し、22町に補助した。 ■図書館サービスの拡充 定期イベントに加え、プログラミング教室や親子落語会を開催した。また、ホームページや館内で電子図書館サービスの利用方法などを分かりやすく伝える動画を放映し、サービスの普及に努めた。					■公民館主催講座 公民館主催の講座数が減少しているものの、グループ主催による講座数が増加し、結果として多様な講座が開催されているのであれば、大きな問題とは言えないのではないかと考えられる。 ※次回、KPIの確認を行ったのちに総合評価を行う。					
	総合評価	C…目標をやや下回って達成				総合評価					
⑧ (ア～エ) 評価シート 28～32	■芸術・スポーツの推進 ジュニア向けのスポーツ教室開催等により、スポーツ少年団への加入を促し、スポーツ団体の活性化に繋がった。また、ニュースポーツ教室が幅広い層への参加機会を創出した。 従来の芸術文化に触れる機会に加え、新たに文芸展WEB投稿講座を開催し、電子フォーム投稿の活用を推進した。 ■施設整備 市内施設の老朽化に伴い、総合運動公園整備に係る基本構想・基本計画の策定を開始した。 ■伝統文化継承 R6年度より補助制度を新設し、5団体が活用した。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成				総合評価					
⑨ (ア～エ) 評価シート 33～38	■運動ポイント事業 マイナ保険証の利用に対してポイントを付与するなど、事業内容の充実と新規利用者の獲得を図った。歩数やアンケート、体力測定結果の分析から高齢者の健康づくりに成果がみられる。 ■がん検診・特定健診勧奨 がん検診の無料クーポン配布や乳がん・子宮頸がん等の受診勧奨を行い、受診率は微増で推移している。特定検診においては、みなし健診を新たに実施したことで受診率が伸びたが、県目標値を下回っており、引き続き受診勧奨を行う。 ■食育推進事業 こどもの健診や健康相談等で啓発したほか、フレイル予防の栄養教育を実施した。また、食育イベントの実施による普及を行った。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成				総合評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
加西市立図書館の来館者数		目標		—	—	—	—	22	万人	単年	
		実績	21	17.4	17.6	19.2	19.3				
		達成度		79%	80%	87%	88%				
※公共図書館調査による年間来館者数											
文化・スポーツ活動の参加者数		目標		—	—	—	—	270	千人	単年	
		実績	188	141	171	168	174				
		達成度		52.2%	63.3%	62.2%	64.4%				
※体育施設・市民会館・公民館の年間利用者											

基本方針・政策・施策										担当部会 1		
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ											
政策	4 暮らしを支える福祉・医療の充実											
施策	⑩ 高齢者福祉の推進 ⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実 ⑫ 保健・医療体制の確保											
未来の加西の姿												
市民が生涯にわたって、健康で自分らしく暮らすことのできるまちを目指します。												
評価検証												
施策	行政内部による評価検証（１次評価）						審議会による外部評価（２次評価）					
⑩ （ア～イ） 評価シート 39～41	■ 高齢者支援の充実 配達員不足等により配食事業の利用者が減少している。R5年度開始の補聴器購入補助には見込みを上回る申請があった。R6年度より市民養老金の支給金額を増額した。また、新型コロナワクチン予防接種をR6年度より定期接種化し助成を開始したが、流行が落ち着いていることもあり接種率は下がった。带状疱疹ワクチンについてはR7年度より定期接種化予定である。 ■ 高齢者の地域活動の推進 シルバー人材センター会員数は年々減少していたが、R6年度については増加した。また、きずなカフェ等の「通いの場」の開催回数が増加しており、R7年度から補助制度開始を予定している。											
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価					
⑪ （ア～ウ） 評価シート 42～44	■ 要配慮者の地域生活移行や社会参加の促進 善防園の老朽化による大規模修繕を実施した。また、独立型短期入所施設を整備し、グループホームや短期入所をスムーズに利用できるよう体験の機会の場を確保した。 ■ 生活困窮支援 就労体験を受け入れてもらえても直接雇用につながる企業が少なく、就労支援による就職者は目標に達しなかった。一方、こども食堂の利用者数は増加が続いている。											
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価					
⑫ （ア～イ） 評価シート 45～48	■ 新病院建設に向けて R5年度に立ち上げた検討委員会による協議を経て、R7年1月に「新病院基本構想・基本計画」がまとまり市長へ答申した。また、地域医療室を中心に病病連携・病診連携を進め、紹介率は向上したが、目標達成には至らなかった。 ■ 各種機関との連携 医師会や歯科医師会との連携により、保険事業検討会や休日診療体制の維持を行うことができた。また、地域包括ケアシステム推進部会を開催し、医療・介護の連携強化を図った。											
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）												
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分		
要介護認定率	目標			—	—	—	—	21.2	%	単年 減少指標		
	実績		20.3	19.4	19.2	19.2	19.4					
	達成度			108.5%	109.4%	109.4%	108.5%					
※認定者数（第1号）÷第1号被保険者数												
市立加西病院への紹介率	目標			—	—	—	—	50	%	単年		
	実績		44	43	33	40	44					
	達成度			86.0%	66.0%	80.0%	88.0%					
※受診患者のうち、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合												

基本方針・政策・施策										担当部会 2	
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む										
政策	5 農業の再生と活性化										
施策	⑬ 農業従事者の確保と育成 ⑭ 農業経営の支援 ⑮ 農業環境の充実										
未来の加西の姿											
加西の特産品を生産する喜び、やりがいのある農業が展開されるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
⑬ (ア～イ) 評価シート 49～50	■ 農産物の連携・加工品開発 意欲ある6次産業実践者に対して、ふるさと財団の支援事業を活用したブランドのブラッシュアップと販路拡大の支援、県補助メニューを活用した東京での展示会出展支援を行った。 ■ 農業従事者の確保 新たに2名の新規就農者（ぶどう、花き）を認定した。また、認定期間中の新規就農者12名に対し、経営強化や施設整備の支援を行うとともに、就農研修生として5名（水稻等、ぶどう、いちご）を受入れ、内2名は新規就農支援事業の研修受入補助を行った。						■ 農産品のブランド化 農林水産大臣賞を受賞している「トマトの一番星」などブランド化されており、引き続きブランド形成の支援をお願いする。 ■ 農業の維持発展 農業就業者数が減っている状況の中、また県内での1農家あたりの工作面積が小さいということからも、農業の維持発展を長期的に目指すためには、経営体の規模拡大を進めるとともに、農地の集積・集約に取り組む営農法人等に対して重点的に支援をしていくことが望まれる。				
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
⑭ (ア～ウ) 評価シート 51～53	■ 農業経営支援 農地集積協力金を活用して新たに1集落2.9haの追加集積を行った。また、高機能トラクターやコンバイン、ドローンなどのスマート農機等への補助を通じて集落営農組織や認定農業者の大規模化、経営効率化を推進した。 ■ ぶどう生産推進 ぶどう棚の新設、改修に加え、老木からの改植や新植を補助し、ニーズが高く収益が見込める大粒系品種への移行を推進した。 ■ 地産地消の推進 生産者及びJAの協力により学校給食に多くの農産物が提供された。播磨農業高校や市内認定農業者が実証栽培した有機米の給食提供について調整を進めた。						■ 農業経営支援 スマート農機等への補助の採択基準には、農地集積面積等がポイントとしていることは評価する。今後、機械購入者は他の農地でも活用する等も採択の基準として検討してはどうか。 ■ 地元農産物のブランディング 農産物の種類ごとのパンフレットだけでは時期やターゲットが絞られるため、加西ブランドとして売り出せるような、様々な農産物がまとめられているパンフレットがあれば年間を通してアピールしやすいのではないかと。 ■ 地産地消の推進 播磨農業高校と連携した校外学習を行うなど、児童・生徒が実際に農産物の栽培を体験することで、食育や地産地消の理解が高まると考える。				
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
⑮ (ア～ウ) 評価シート 54～56	■ スマート農業の推進 いちごハウスの高機能ファン導入や集落営農組織の高機能コンバインの導入、認定農業者の農業等散布用ドローンの導入を支援した。 ■ 環境保全型農業の推進 かさい農業塾でみどり認定やJクレジットの勉強会を行い、環境創造型農業の普及推進と農業経営の安定化に取り組んだ。 ■ 有害鳥獣対策 イノシシやシカ、アライグマ等の捕獲を行いつつ、被害軽減に向けて金網柵や電気柵等を設置した。スクミングガイ対策として、薬剤の補助を実施した。						■ 多面的機能支払交付金事業 多面的機能支払交付金により、農用地の保全管理が着実に進められている点は意義深い。一方で、交付金の活用が一部の活動組織の継続に繋がっており、結果として組織体制の見直しが進みにくい面も見受けられる。今後は、活動組織の集約・再編なども視野に入れた前向きな検討を期待する。				
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
担い手への集積面積		目標		—	—	—	—	1,400	ha	単年	
		実績	1,215	1,255	1,255	1,256	1,258				
		達成度		89.6%	89.6%	89.7%	90%				
※認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織が集積している農地の合計面積											
農地の活用率		目標		—	—	—	—	91	%	単年	
		実績	89	87	87	87	88				
		達成度		95.6%	95.6%	95.6%	96.7%				
※作付面積÷農地面積											

基本方針・政策・施策										担当部会 2	
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む										
政策	6 商工業の振興と新展開										
施策	⑯ 商工業の振興 ⑰ 創業支援と働く場の拡大 ⑱ 雇用・勤労者福祉の充実										
未来の加西の姿											
商工業の振興により地域経済を活性化し、働きたいと思われるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
⑯ (ア～ウ) 評価シート 57～60	■産業振興、デジタル化 新産業創出支援事業により、市内事業者のデジタル化を推進し、事業の効率化及び生産性の向上を図った。 ■地域通貨「ねっぴ〜Pay」による消費喚起 ポイント還元キャンペーンのほか、ふるさと産品抽選キャンペーンなどの多様なコンテンツを追加し、地域通貨流通量の拡大を図った。あわせて、ねっぴ〜商品券による消費喚起に取り組んだ。 ■魅力ある商業施設、宿泊施設の誘致 企業立地促進優遇制度を拡充するとともに、加西インター第1期地区地区計画を商業施設が立地可能となるよう変更した。北条町駅周辺において、工業地域を近隣商業、準工業地域へ変更した。また、西笠原町地区での店舗建築可能な床面積を引き上げた。						■魅力ある商業施設の誘致 市街地での商業店舗誘致を年1件と目標に掲げているものの、目標達成には至っていない状況である。今後の対応改善等を図る等により進められたい。 ■用途地域変更、商業施設等の立地促進 令和6年度において、地区計画の変更による規制緩和が新たに進められたことにより、店舗の出店可能性が高まった点を評価する。				
総合評価	B…ほぼ目標を達成						総合評価	B…ほぼ目標を達成			
⑰ (ア～エ) 評価シート 61～65	■創業支援と働く場の拡大 かさい創業塾やビジネスグランプリなどを通じて、創業・起業を目指す人の支援を行い、コンテスト後も参加者同士のコミュニティが形成され、継続して交流が図れている。定住自立圏の取組として、創業に関する基礎知識、事業承継、ブランディングなど幅広く学ぶ機会を提供した。 ■加西インター産業団地の整備 1期事業において、1-2工区のリスパック(株)が操業を開始し、1-1工区で2社が建築工事を開始した。2工区では3社が進出企業を公表し、造成工事を開始した。4工区では造成工事が完了し、7社に用地を引き渡し、5社が建築工事を開始した。						■空き店舗活用補助事業 北条旧市街地は道が狭いことと駐車場がないことが課題であり、駐車場確保をすることで空き店舗への出店が増えるのではないかと。				
総合評価	A…目標を大きく上回って達成						総合評価	※部会1日目では⑰途中で終了につき、外部評価の一部及び総合評価は未入力としています。			
⑱ (ア～ウ) 評価シート 66～68	■雇用の促進 JOBフェアを2回開催したほか、オンライン企業説明会で学生と企業が交流する場をつくり、市内における雇用の促進を図った。 ■兵庫労働局との連携 雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組み、必要に応じて福祉関係部署等と連携し、就労に向けたサポートを行っている。 ■UJIターンによる就労促進 市内の優良企業を訪れる小学生向けツアーを開催した。										
総合評価	B…ほぼ目標を達成						総合評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分		
製造品出荷額	目標		—	—	—	—	3,900	億円	単年		
	実績	3,321	3,213	2,480	3,115	3,125					
	達成度		82%	64%	80%	80%					
※工業統計調査（2020年調査で終了し、2020年以降「経済構造実態調査」・経済センサス活動調査											
	目標										
	実績										
	達成度										

基本方針・政策・施策										担当部会 2	
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む										
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出										
施策	⑭ 歴史・文化の再発見と交流拡大 ⑯ 移住・定住の支援 ⑰ 空き家・空き店舗の利活用										
未来の加西の姿											
地域資源を十分に活かし、加西市に訪れたいと感じる魅力あるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
⑭ (ア〜ウ) 評価シート 69〜72	■ 歴史文化遺産を活かす取組 団体への補助により9団体が地域文化財の修理等を通して公開や周知活動に取り組むほか、6団体が地域文化財の清掃等に取り組んでおり、新規の団体による申請もあることから、住民が自ら地域の文化財の保存活用に取り組むことができつつある。 ■ 地域資源を活用した観光振興 鵜野フィールドミュージアム歴史遺産のデジタルコンテンツの追加、2Dメタバースの運用、鵜野フィールドミュージアムへの看板設置工事等を行った。また、メディアでのプロモーションにも積極的に参加し、「気球の飛ばまち加西」をPRした。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成									
⑯ (ア〜ウ) 評価シート 73〜76	■ 移住定住の支援 UJIターン促進補助金、若者定住促進住宅補助事業、新婚世帯向け家賃補助事業等を実施した。令和6年度は、若者定住促進住宅補助について外国人の利用者が増加している。一方で結婚新生活支援事業の活用が進まなかった。 ■ 移住相談施策の強化 ワンストップ窓口での移住相談対応や相談会、ワークショップ等の開催に加え、移住検討者向けSNS「SMOUT」の使用により、気軽に相談できる環境が整ったことで相談件数が大幅に増加した。										
	総合評価	C…目標をやや下回って達成									
⑰ (ア〜ウ) 評価シート 77〜80	■ 空き家対策強化 空き家の新規登録数は目標を超えて維持できている。また、令和7年度から5年間を計画期間とした空き家対策計画を新たに策定した。 ■ 空き家の利活用支援 昨年と比較して、空き家バンクの成約数は減少したが、空き家改修補助事業は同水準となった。お試し滞在施設2施設の開業とワンストップ移住相談の相乗効果により、お試し滞在補助制度の利用者が大幅に増加した。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成									
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
観光入込客数	目標		—	—	—	—	1,100	千人	単年		
	実績	914	954	1,205	1,162	1,136					
	達成度		87%	110%	106%	103%					
※加西SA 利用者数は除く年間客数											
若者の残存定住率	目標		—	—	—	—	80	%	単年		
	実績	78	80	83	83	82					
	達成度		100.0%	103.8%	103.8%	102.5%					
※ 3月31日現在の26-28歳の人数÷10年前の16-18歳の人数											

基本方針・政策・施策										担当部会 3	
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる										
政策	8 安全・安心に暮らせる環境の充実										
施策	② 防災・感染症対策の充実 ③ 防犯・交通安全の向上 ④ 市民相談・消費者保護の充実										
未来の加西の姿											
地域と連携・協働した支援体制の構築と強化で、安全・安心に暮らせるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
② (ア〜ウ) 評価シート 81〜84	■防災対策の充実 「かさいライフナビ」や「加西市公式LINE」に防災情報の通知設定を行った人に、ねっぴ〜Payポイントを付与し、防災アプリの普及促進に取り組んだ。今後はアプリを導入していない住民や災害時要支援者にタブレット端末が行きわたるよう自治会と連携して取り組む。 ■新型コロナウイルス感染症対策 令和6年度より新型コロナワクチンを定期接種化し、10月より接種費の助成を開始した。引き続き、加東健康福祉事務所との連絡及び情報共有を定期的に行う。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
③ (ア〜イ) 評価シート 85〜87	■防犯対策の推進 自治体要望に基づき防犯灯421灯、防犯カメラ12基を設置するとともに、市内交差点に防犯カメラ2基を増設した。防犯灯、防犯カメラのいずれも経年劣化が危惧され、今後の保守管理が課題である。また、自動録音機能付電話機等購入補助により、特殊詐欺被害の未然防止に努めた。 ■交通安全の推進 市内の全中学生を対象として自転車保険（対物）に加入し、安心して通学させられる環境づくりに取り組んだ。市内企業、高齢者団体、こども園、小中学校において交通安全教室を実施するとともに通学路危険箇所の点検と交通安全啓発看板の設置を行った。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
④ (ア〜イ) 評価シート 88〜89	■市民相談の充実 月1回実施している弁護士相談の予約枠が毎回埋まっている状況である。受入枠の増加を図るため、WEB相談の実施準備を進めた。 ■消費者相談の充実 消費者問題への啓発のため、年間10回以上の消費者講座を開催しているが、参加者数は年々減少傾向にある。国や市による啓発活動が効果を挙げていると考えるが、市民被害を減少させるには、消費者自身の自己解決力を向上させることが重要であるため、より効果的な啓発方法を模索する。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
防災訓練・研修回数		目標		—	—	—	—	75	回	単年	
		実績	57	55	56	72	69				
		達成度		73.3%	74.7%	96.0%	92%				
※自主防災組織（自治会）の延べ年間実施回数											
交通事故発生件数		目標		—	—	—	—	1,300	件	単年 減少指標	
		実績	1,466	1,262	1,272	1,214	1,257				
		達成度		102.9%	102.2%	106.6%	103.3%				
※ 3月31日現在の26-28歳の人数÷10年前の16-18歳の人数											

基本方針・政策・施策										担当部会 3	
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる										
政策	9 快適な都市空間の創出										
施策	⑳ 住環境の整備 ㉑ 地球に優しい環境都市の創造										
未来の加西の姿											
良好な住環境や景観等が整い、加西らしいまち並みが形成されたまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
⑳ (ア～オ) 評価シート 90～96	■住環境整備 西高室土地区画整理事業完了後の換地部分も順調に宅地化が進んだ。西高室の分譲可能区画が少なくなり、建築費高騰の影響で新築住宅の建築件数が減少している。また、中野・下宮木地区のまちづくりに向けて、市道上宮木鶴野線の拡幅工事の実施設計を行った。 市街化調整区域の規制緩和について協議と手続きを進めた結果、R6年9月に加西市域の区域区分廃止の方針が決定した。 ■歴史的街並みの景観保護 景観形成地区内における建築行為について、景観ガイドラインで定められた景観形成基準への適応に向けた指導と相談を行った。また、北条旧市街地の歴史的街並みの景観保全のため、石畳風舗装を150mにわたり整備した。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成									
	㉑ (ア～ウ) 評価シート 97～100	■脱炭素のまちかさいの実現 再生可能エネルギーの地産地消と脱炭素社会の実現を目指し、「株式会社かさいスマートエナジー」を設立した。また、民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロに向けて、蓄電池や電気自動車等の導入補助、脱炭素先行地域内の既存住宅への脱炭素化補助を実施した。 ■環境都市の創造 小学校での農業体験や地域の自然環境調査、自然観察、中学校のトライやるウィークでの体験活動のほか、理科や総合的な学習においてSDGsの視点を活かした環境学習に取り組んだ。動植物生態調査事業では、年次計画書に沿って2地点の詳細調査を実施した。									
総合評価		B…ほぼ目標を達成									
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
住宅の新築件数	目標			—	—	—	—	90	件		単年
	実績		115	95	106	86	57				
	達成度			106%	118%	96%	63%				
※市内の一戸建て住宅の単年度の新築件数											
市民一人あたり1日のごみ排出量	目標			—	—	—	—	766	g		単年 減少指標
	実績		793	811	828	840	808				
	達成度			94.1%	91.9%	90.3%	94.5%				
※（ごみの処理量＋集団回収量）÷9月末人口÷年間日数											

基本方針・政策・施策										担当部会 3	
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる										
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備										
施策	⑳ 道路・河川の整備・維持管理 ㉑ 上下水道の整備・維持管理 ㉒ 公共交通の充実										
未来の加西の姿											
暮らしの中で快適さを感じることができる生活環境が整ったまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（１次評価）						審議会による外部評価（２次評価）				
⑳ (ア〜ウ) 評価シート 101〜103	■道路・河川の整備・維持管理 市道の新設と改良、通学路整備、草刈り補助を実施した。地元からの修繕要望が増えており、優先順位を明確にして計画的に道路修繕を実施している。今後も予算の平準化を図りつつ安全な道路環境の維持に努める。 ■公園内の安全管理 老朽化した木製遊具の撤去やローラー滑り台のローラー交換など、施設や遊具の安全性向上を図った。また、一般公園についても草刈りや清掃を行い、景観維持や安全のための整備を行った。丸山公園の利用者数は対前年度比で626人の増となった。						■道路・河川の整備・維持管理 道路点検の危険度レベルにおいて、早急に補修が必要なレベルの道路や橋梁はない。今後、補修の必要性が高まってくれば対応が必要となってくる。 ■公園内の安全管理 丸山公園の利用者は増えているが、人口減少する中でどのくらいを適正な目標値とするのが今後の課題である。				
	総合評価	A…目標を大きく上回って達成					総合評価	A…目標を大きく上回って達成			
㉑ (ア〜イ) 評価シート 104〜105	■上水道経営の効率化 令和7年度末に市川町からの受水を終了し、令和8年度以降はより安価な県水に全面的に切り替えるため、受水費が低減される見込みである。 ■上下水道の整備・維持管理 水道管路の耐震管への更新事業については、寺山配水池幹線(第1工区)における配水管布設工事を実施した。下水統廃合事業については、剣坂地区公共下水道接続工事を実施した。						■水道管の維持管理、上下水道経営の安定 耐震管への更新が全体の6%にとどまっているものの、地盤との組み合わせにより震度6強程度の地震に耐えられる耐震適合管の導入率は83%に達している。また、給水単価については、県水への切替の関係で一時的に上昇しているが、今後の改善が見込まれており、現時点で早急に対応すべき課題があるとは考えにくい。				
	総合評価	C…目標をやや下回って達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
㉒ (ア〜ウ) 評価シート 106〜108	■公共交通の利便性向上 公共交通総合HPを開設し、英語翻訳機能を導入することで幅広い層に向けた情報発信に努めた。また、企業への通勤・出張を考慮したコバス再編の検討を開始した。 ■北条鉄道の利用促進 既存の安全輸送設備の整備支援を行ったほか、ICカードシステム導入に向けた支援を行った。 ■地域主体型交通の推進 3地区での運行を支援し、安全に運行を続けるために既存運転手への安全運転講習や認知機能チェック講座を実施した。						■公共交通の利便性 公共交通の不便さのために高校等を選ぶ際の選択肢が狭っており、保護者から懸念の声が寄せられている。交通結節点の整備を検討される際は、乗り換え時に利用可能なコンビニ等の施設も併せて整備されると利便性が高まる。北条鉄道の利用者が増えているのは良いことだが、北部地域等で周辺地域全体の利便性を考慮した交通施策をお願いしたい。				
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
道路改良率	目標			—	—	—	—	34.8	%		単年
	実績	34.1	34.6	34.6	34.6	35.7					
	達成度		99.4%	99.4%	99.4%	103%					
※規格改良済延長÷実道路延長											
鉄道・コミュニティバス等の利用者数	目標			—	—	—	—	420.0	千人		単年
	実績	365.5	365.4	408.5	418.9	422.8					
	達成度		87.0%	97.3%	99.7%	100.7%					
※ 3月31日現在の26-28歳の人数÷10年前の16-18歳の人数											

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								担当部会 3
政策	11 協創のまちづくりの推進								
施策	⑩ 協創のまちづくり ⑪ シティプロモーションの推進 ⑫ 広報・広聴の充実								
未来の加西の姿									
加西に関わる誰もが主役となって活躍し、元気ににぎわいあるまちを目指します。									
評価検証									
施策	行政内部による評価検証（1次評価）					審議会による外部評価（2次評価）			
⑩ (ア〜ウ)	■ 協創のまちづくり 新たに1地区でまちづくり計画が策定され、計6地区の計画策定が完了した。また、2地区が策定準備を進めている。 ■ 市民参画によるまちづくり 地域交流センターの登録団体数は、令和3年度以降、横ばいの状態が続いており、積極的な活動を支援する新たな環境整備が必要である。 ■ 関係人口の創出 移住希望者交流サイト「SMOUT」を経由した相談を開始したことで、中間支援組織への相談件数が増加した。また、都市部住民と市内で活躍する住民との交流を目的としたワークショップを開催し、移住人口や関係人口の増加を図った。					■ 協創のまちづくり 集落支援員が増えないという課題をどのように解決していくか、制度設計などを含めてしっかり検討し、次の計画に反映する必要がある。 ■ 関係人口の創出 中間支援組織の相談件数が増えていることは評価できる。また、相談後に実際に移住や定住などの具体的な行動を起こした人数を評価することが必要である。			
評価シート 109~111	総合評価 B…ほぼ目標を達成					総合評価 B…ほぼ目標を達成			
⑪ (ア〜ウ)	■ シティプロモーションの推進 子育て支援や住宅支援施策に関するシティプロモーション動画をYouTube配信し、本市のイメージアップを図った。 ■ ふるさと納税推進 家電をはじめとする主力返礼品の限定カラーの追加や近年人気が集まっている安価なものや日用品のラインナップを増やすことで寄付受入額を確保した。 ■ 観光資源の発掘 「かさい観光ナビ」を中心に、イベント情報やふ〜ど記、喝采みやげの情報発信を行った。また、加西市観光協会公式LINEを使用してイベント情報の発信や参加者の募集を行った。					■ シティプロモーションの推進 ホームページアクセス数やSNSフォロワーは増えているが、社会全体で利用者が増えている。相対的に評価するなどして、成果を客観的に評価できるよう願う。 ■ ふるさと納税推進 ふるさと納税は非常に大切な財源だが、安定的な財源ではない。財政的に締めるところと出すところをよく考えて、福祉など市民の生活に関することなどは積極的に進めてもらいたい。 ■ 地域資源の発掘 加西市を象徴するものや、ここにしかないというものがあまり浮かばない。加西市には素晴らしい場所や人があるので、うまくPRするなど改善の余地がある。			
評価シート 112~114	総合評価 B…ほぼ目標を達成					総合評価 B…ほぼ目標を達成			
⑫ (ア〜ウ)	■ 広報の作成 令和7年1月号から文字サイズを大きくし、読みやすいフォントに変更した。また、スポーツ少年団を連載することで地域活動の周知に努めた。 ■ HPやSNSによる情報発信 HP上のリンク切れや古い情報ページの修正を行った。LINEの登録者数は年々増加しており、運用ルールや発信方法を整理し、より効果的な情報発信に努める。 ■ タウンミーティングの実施 市内10カ所で年2回にわたり開催し、当初予算の説明と地域の要望や課題の集約を行い、市政運営に反映した。また、泉中学校の4小学校区については、小学校統合後の学校跡地利用等についての意見交換を行った。					■ 情報発信 プレスリリース数やLINEの登録数などのKPI数値から、情報発信をしっかり取り組んでいると思われる。 ■ 広報広聴 市民の要望を受けた対応によりごみターミナルのビン回収容器が軽量化された点は評価できるが、風によって飛ばされるなどの危険性がある。様々な意見があると思うので利用者の声をよく聞き取ったうえで対応をお願いしたい。			
評価シート 115~117	総合評価 B…ほぼ目標を達成					総合評価 B…ほぼ目標を達成			
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
まちづくり計画の策定数	目標		—	—	—	—	7	計画	累計
	実績	4	5	5	5	6			
	達成度		71%	71%	71%	86%			
※ふるさと創造会議（10 地区）におけるまちづくり計画の策定数									
	目標								
	実績								
	達成度								

基本方針・政策・施策										担当部会 1		
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める											
政策	12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現											
施策	③③ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進 ③④ 男女共同参画の推進 ③⑤ 多文化共生と平和のまちの実現											
未来の加西の姿												
多様な価値観やお互いを認め合い、すべての市民が協力できるまちを目指します。												
評価検証												
施策	行政内部による評価検証（１次評価）						審議会による外部評価（２次評価）					
③③ (ア〜ウ) 評価シート 118〜121	■人権文化の推進 人権学習会の参加者数が前年度比で808名増（35%増）と大きく改善し、研修アンケートでは95%の参加者が「人権問題への関心や理解が深まった」と回答しており、人権意識の醸成を図れた。 ■子ども支援・家庭支援 こども家庭センターを創設し、統括支援員の配置と専門職の増員により相談体制を強化した。また、DVセンターに女性相談員を配置した。相談員の安定的な確保と育成が課題である。 ■成年後見支援 令和7年1月から、加西市、加東市、多可町の２市１町により「北はりま成年後見支援センター」の運営を開始した。今後、他市町の福祉サービス事業所との関係性づくりを進める。											
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価					
③④ (ア〜イ) 評価シート 122〜123	■男女共同参画の推進 「ウィメンズネット加西塾」では、コミュニケーションやデジタルなどのスキルアップ講座に加えて地域での活動のきっかけとなる「防災」をテーマとした講座を開催し、女性リーダー養成に取り組んだ。また、自治会役員女性登用助成制度に新たに８件の申請があり、19自治会（13.5%）で女性役員登用が進んだ。 ■雇用の促進 兵庫労働局との雇用対策協定のもと、女性向けの就労セミナーを開催するほか、子育て応援面接会を開催し、女性の就労促進に取り組んだ。											
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価					
③⑤ (ア〜ウ) 評価シート 124〜126	■多文化共生の推進 国際交流協会と連携して、日本語教室、国際理解、日本語ボランティア研修を実施し、住民交流事業参加者数が626人に増加した。令和7年度のグローバルセンター開設に向けて準備を行った。 チラシの翻訳や周知により、医療通訳システムの活用が大幅に進んだ。また、小学校2か所と市職員向けにやさしい日本語教室を実施した。 ■平和ツーリズムの展開 soraかさいの自主事業としてマルシェ、講演会、ナイトミュージアム等のイベントが実施された。soraかさいと法華口駅間でピースツーリズムを実施して誘客を図るほか、鶴野フィールドミュージアムのデジタルコンテンツを活用し、平和学習誘致の営業活動を行った。											
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）												
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分		
人権研修の参加者数	目標		—	—	—	—	3,500	人	単年			
	実績	3,398	2,074	2,272	2,298	3,106						
	達成度		59.3%	64.9%	65.7%	88.7%						
※加西市が実施する人権研修会の参加者数												
女性管理職の登用率	目標		—	—	—	—	20.0	%	単年			
	実績	15.2	13.3	11.8	10.7	14.2						
	達成度		66.5%	59.0%	53.5%	71.0%						
※加西市役所、市立こども園、市立加西病院、市立小・中・特別支援学校、市内企業の女性管理職の割合												

基本方針・政策・施策										担当部会 2	
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める										
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進										
施策	③⑥ 行財政運営の効率化 ③⑦ ICTの利活用の推進 ③⑧ 広域連携と公民連携の推進										
未来の加西の姿											
計画的な行財政運営と人材の資質向上により、質の高いサービスを提供できるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
③⑥ (ア～オ) 評価シート 127～131	■行政サービスの質の向上 広域研修への参加人数は前年度比で40名（36％）増となった。引き続き専門知識の習得や広域的な視野を持った職員の育成に努める。 ■行財政運営の効率化 人件費の上昇やふるさと納税額の減少があったものの、計画的な予算執行、国県補助金や起債・ふるさと納税の活用、一般財源の歳出抑制により基金残高を確保し、持続可能な財政運営を行った。大型建設事業が本格化するなか、健全な財政運営となるよう予算編成を進める。 ■徴収体制強化 物価高騰を考慮した実質賃金が3年連続減となり、過年分の収納率も0.6ポイントの減となった。現年分は0.1％の上昇となり年度目標を達成した。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
③⑦ (ア～イ) 評価シート 132～134	■ICTの利活用、業務の効率化 AI議事録の活用に加えて、ビジネスチャットツールに実装したAIチャットボットの活用などにより、業務の効率化が図られている。 文書のデータ管理、議会資料の完全ペーパーレス化等により、コピー使用枚数は減少傾向にある。 ■行政手続きのオンライン化 住民票等のオンライン申請が可能となったが、発行枚数が目標を下回っており、自動交付機からの移行が想定通りには進んでいない。R7年度の自動交付機撤去に向けて、コンビニ交付とオンライン交付の活用推進に取り組む。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
③⑧ (ア～イ) 評価シート 135～137	■広域連携の推進 北播磨広域定住自立圏では、社会情勢や近年の市民ニーズ等を反映し、令和7年度から5年間の第3次ビジョンを策定した。自治体の枠組みにとらわれることなく集約とネットワークによる圏域の創造に取り組む。 ■SDGsの推進 加西市のSDGsを共に推進するSDGsパートナー登録事業者が50件に増加した。また、新たに2件の包括連携協定を締結し、様々なステークホルダーとの連携により行政サービスの向上を図る。 ■高校・大学・企業との連携 神戸大学食資源センターや県立播磨農業高校の農産物を学校給食で提供したほか、県立農林水産技術総合センターと連携し、黒枝豆新ブランド「ひかり姫」の生産拡大や有機米の実証生産に取り組んだ。										
	総合評価	A…目標を大きく上回って達成					総合評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
経常収支比率	目標			—	—	—	—	92.4	%	単年 減少指標	
	実績		93.8	90.4	94.9	96.8	95.7				
	達成度			102%	97%	95%	96%				
※人件費、扶助費、公債費等の経常的な経費に対し、地方税、地方交付税、地方譲与税等の経常的な収入が充当されている比率											
地方債残高	目標			—	—	—	—	426	億円	単年 減少指標	
	実績		411	394	372	356	344				
	達成度			107.5%	112.7%	116.4%	80.8%				
※一般会計・特別会計・企業会計の全ての市債の残高											